

発行：秋田市企画調整課 / 編集協力：秋田市姉妹都市フォーラム

市民協働の力

秋田市姉妹都市フォーラム 代表 佐藤 英明
(特非 秋田国際交流友の会 会長)



秋田市姉妹都市フォーラムが、市内国際交流団体等のネットワークに変わり、まもなく1年になるうとしています。

平成25年度もこれまで同様「秋田市友好・姉妹都市交流展」では、各団体が企画から積極的に携わって展示品の準備や開催中の見学者対応を行ったほか、7月のキナイ半島郡関係者の受入れでは、秋田アラスカキナイ会が全行程にわたり大活躍するなど、それぞれの得意分野で秋田市の姉妹都市等交流事業の実施に関わりました。

また、昨年6月にパッサウ市で500年来の大洪水による甚大な被害が発生した際には、秋田日独協会が市と協力して迅速に募金活動を行い、市民や企業・団体等から集まった約528万円をパッサウ市へ寄付しました。

このように、市そして各団体が培ってきた姉妹都市等との信頼関係や交流実績は、市民協働によってさらに大きな力となり、素晴らしい成果を収めています。

さて、平成26年度は、パッサウ市と姉妹都市提携30周年を迎えます。市では、パッサウ市から市民交流団を迎えて記念式典と祝賀会を行うほか、音楽家を招いて記念コンサートを開催し、市民を無料招待する予定ということです。市民交流から始まったパッサウ市との記念すべき30周年事業であり、実施にあたっては、秋田日独協会をはじめネットワーク団体などによる全面的な協力が不可欠と考えています。

また、キナイ半島郡からは、8月に高校生バレーボールチームと市民交流団約20人が来秋予定です。

秋田でのホームステイに向け、キナイの高校生は、現在日本文化を学習中ということで、両市民間の相互交流・相互理解がさらに深まることが期待されます。

今年も春の訪れと共に、秋田市そして各国際交流団体の事業も活発になります。皆様の活動におきましても、周知したい情報や他の団体の協力が必要な場合がありましたら、秋田市企画調整課国際交流担当 (Tel: 866-2033) を通して、秋田市姉妹都市フォーラムまでご連絡ください。

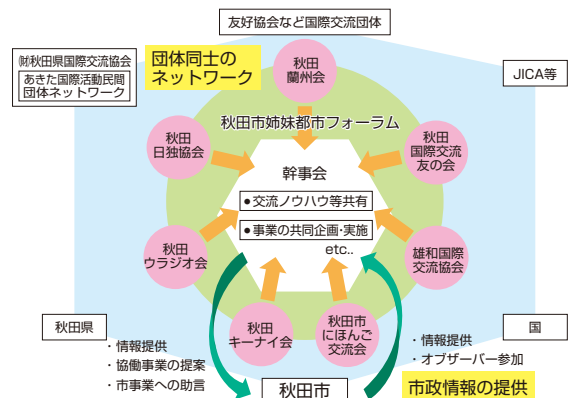
平成26年度 秋田市の主な国際交流関係事業(予定)

時 期	事業名・姉妹都市等名	概 要
7月下旬	国際平和推進事業	広島から被爆者の方を招き、講話会を開催します。(無料)
8月1日 ～7日	アメリカ合衆国アラスカ州キナイ半島郡	高校生バレーボールチームと市民交流団約20名が来日します。滞在中は、ホームステイを予定しています。
10月下旬 ～11月上旬	ドイツバイエルン州パッサウ市	・姉妹都市提携30周年でパッサウ市から市民交流団約50名が来日します。(式典・祝賀会開催) ・パッサウ市の音楽家を招いてコンサートを開催します。(市民無料招待)
10月下旬 ～11月上旬	中国甘肅省蘭州市	蘭州市から研修員4名を2ヶ月間受入れます。(医師2名、教育・文化等分野2名)
通 年	秋田市日本語教室の開催	外国人住民を対象に、日本語教室を開催します。(無料) (毎週木曜日、午後6時30分～8時、於：「ジョイナス」)

平成26年度 秋田市と秋田市姉妹都市フォーラムの共催事業(予定)

時 期	事業名	概 要
10月18日 ～19日	国際交流フェスティバル参加	秋田県国際交流協会主催の「あきた国際交流フェスティバル」に参加します。
11月28日 ～30日	友好・姉妹都市交流展開催	サンパル秋田まつりに合わせて「秋田市友好・姉妹都市交流展」を開催します。
8月上旬頃 予 定	国際理解推進講座開催	講師を招いて、市民対象の「国際理解推進講座」を開催します。

秋田市姉妹都市フォーラム





中国蘭州市で友好都市提携30周年記念式典が 開催されました。



▲ 石井副市長から戈副市長へ記念品を贈呈

蘭州市との友好都市提携30周年記念式典等に参加するため、10月24日（木）から30日（水）まで秋田市代表团と小中学生囲碁交流団が中国を訪問しました。

友好都市提携30周年記念式典に先立って、石井周悦副市長と戈銀生（かぎんせい）蘭州市副市長が2014年度から2016年度までの友好交流合意書に、調印し、今後の交流を確認しました。

日本国秋田県秋田市 友好交流合意書 中華人民共和国甘肃省蘭州市

中国蘭州市政府の招請に応じ、石井副市長を団長とする秋田市代表团一行は、2013年10月25日から同月28日まで、蘭州市を訪問し、友好関係のさらなる発展のため、各分野における友好交流項目について広く意見を交換した。

その結果、秋田市と蘭州市（以下「両市」という。）は、日本国秋田市と中華人民共和国蘭州市との友好都市提携協定書（1982年8月5日調印。以下「友好都市提携協定書」という。）に基づく2014年度から2016年度までの期間の交流項目について、下記のとおり実施することで意見が一致した。

記

一 青少年交流について

両市は、今後の友好交流の担い手となる青少年を対象とする多様な分野の交流の実施に努めることとする。

実施に際しては、相互の文化、習慣、風俗等を体験するため、相手都市におけるホームステイを含むプログラムとし、あらかじめ、人数、時期、期間等の計画を示し、受入側の同意を得ることを前提とする。

経費負担は、訪問者負担を原則とする。

二 医療研修員の受入れについて

秋田市は、毎年度、蘭州市人民病院から派遣される医療研修員2名を受け入れる。秋田市滞在期間は2カ月とする。派遣される医療研修員は日本語または英語で秋田市の医師と十分なコミュニケーションを図ることができる者とする。

日本国内の到着空港から秋田市までの最短距離の往復交通費および日本国内の宿泊費は、秋田市が負担する。

三 芸術・文化・武芸等に関する交流について

両市は、芸術、文化、武術分野等における交流を促進し、両国の文化に対する理解と普及をはかるため、両市民の派遣および受入れに努めるものとする。

交流を実施する場合は、必要に応じて、テーマ、滞在期間、費用負担等について事前に協議を行い、双方合意の上、実施するものとする。

四 2016年の友好交流協議について

2016年、秋田市は、蘭州市人民政府代表团数名を秋田市に招待し、2017年度の友好都市提携35周年に関連する交流を含む、2017年度から2019年度までの友好交流について協議することとする。

蘭州市人民政府代表団の日本国内の到着空港から秋田市までの最短距離の往復交通費および日本国内の滞在費用は、秋田市が負担する。

五 本合意書に定めのない事項に係る協議について

上記に掲げる各交流項目の詳細を決定する場合、または、本合意書に記載のない交流を実施しようとする場合は、両市が別途協議を行うものとする。

本合意書は、日本文および中国文により一式2部作成し、署名した日から、それぞれ等しい効力を有するものとする。

日本国秋田県
秋田市副市長

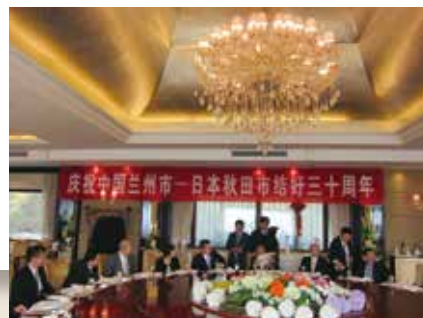
石井周悦

（石井周悦）
2013年10月26日

中華人民共和国甘肃省
蘭州市副市長

戈銀生

（戈銀生）
2013年10月26日



友好都市
提携30周年
記念式典の様子



両市の小中学生が囲碁対局を通じて、 交流を深めました。

囲碁対局は、10月26日と27日の2日間で全15戦が行われました。

成績は1勝14敗で、蘭州市の圧勝でした。

参加した団員からは、「日本では見たことのない打ち方で驚きました。」「さすが囲碁発祥の地と言われるだけあり、相手は強くて、いい経験になりました。」「今回の経験を生かし、これからも棋力を高め、国際交流に参加できるように努力したい。」といった感想が寄せられました。



対局の様子

秋田市囲碁交流団

(中学生2人、小学生3人、監督1人)

- 山口 遥 香さん (御所野学院中3年)
- 高橋 綾 流さん (御野場中1年)
- 續 隼 人さん (泉小6年)
- 山口 新之介さん (桜小5年)
- 戸賀瀬 裕 和さん (秋大附小5年)
- 高橋 新一郎さん (囲碁交流団監督)



表彰式の様子

(上)と

囲碁交流のパフレット

(右)



「蘭州市訪問を終えて」

御所野学院中学校3年 山口 遥香

私は、今回の蘭州市との囲碁交流に参加することができて本当によかったと思っています。

特に囲碁交流では、対局からたくさんのことを学ぶことができ、布石や、死活が弱いなど自分の今後の課題を見つけることができました。

中国は人が多く、自動車の交通量もとても多く今まで社会の授業で学んできたことを体感することができたことも思い出の一つです。

本当にこの交流では、囲碁はもちろんのこと、いろいろなことをたくさん学ぶことができました。このような経験をできたことにとっても感謝しています。これからもこの経験を活かすことができるようにがんばっていきたいです。



蘭州市の医師2名が、市立秋田総合病院で研修を受けました。

研修を受けたのは、王春萍先生（小児科、写真右）と、徐元勝先生（循環器内科、写真左）の2人で、10月21日から12月19日までの2ヶ月間それぞれの専門分野で熱心に研修しました。また、滞在中は、秋田蘭州会主催の歓迎会にも招待されるなど、交流を深めました。秋田で学んだことが蘭州市医療技術の一層の向上へつながることを願います。



尊敬する秋田市の友人の皆様

医療研修員 徐元勝

私は中国甘肅省蘭州市の第二人民病院心臓血管内科の医師です。幸運にも2013年の10月21日から12月19日まで秋田市の招きにより市立秋田総合病院循環器内科にて医療研修を受けました。

（中略）研修期間に、私は幸運にも、病院が患者の入院後に科学的な処置を行うのを目の当たりにすることができました。救急患者を処置する時のプロセス化された一連の手順や、重篤な患者の科学的な項目管理、医療スタッフ教育などの先進的な技術を経験できたことは、帰国後に真摯に総括し研究する価値があります。短期間の医療研修でしたが、その収穫はとて多く、私達の研修の目的は十分に遂げられたものと感じています。

また、研修期間が短いとはいえ、秋田の関係者の方々께서大事にしてくださいましたことを強く実感しています。滞在中には、私達の研修と日常生活のために、至れり尽くせりのお心配りとお世話をいただき深く感謝しています。

研修期間には、たくさんの中日友好交流に興味をお持ちの皆様や秋田市民の皆様の心のこもったおもてなしを受け、私達は日本人の好意と友情を強く感じると共に、日本人が中国に対して好感を持ってくださることを感じることができ、深く感動しました。このたびの研修により、私は永遠に中日友好のために励むという

信念を一層強く持ちました。そのために、できる限り貢献していきたいと思えます。

市長から過去の交流の写真を見せてもらいました。



秋田市友好・姉妹都市交流展を開催しました

「秋田市友好・姉妹都市交流展」を10月4日から6日までの3日間、サンパル秋田で開催し、これまでの交流の成果を展示しました。



交流展は、秋田市と姉妹都市フォーラムが共催で行いました。会場では、各姉妹都市等から贈られた記念品の展示、各都市や事業を紹介するDVDの上映のほか、来場者への質問に答えるなど、約200人の来場者へ友好姉妹都市交流をPRしました。

姉妹都市フォーラム ネットワーク団体

特非) 秋田国際交流友の会、秋田日独協会、秋田蘭州会、秋田ウラジオ会、秋田アラスカキーナイ会、雄和国際交流協会、秋田市にほんご交流会

各団体とも、常時参加メンバーを募集しています。各団体と連絡をとる場合は、企画調整課国際交流担当(018-866-2033)までご連絡ください。なお秋田市姉妹都市フォーラムのホームページでも確認できます。

秋田市姉妹都市フォーラムHP

<http://www2.akita-kenmin.jp/~ukipara/>

お問い合わせは

秋田市 企画調整課 国際交流担当まで TEL 018-866-2033

秋田市 企画調整課 国際交流担当HP

<http://www.city.akita.akita.jp/city/pl/in/default.htm>